

卒業生メッセージ



土木・環境プログラム



宇田 六花さん

平成31年3月 社会環境工学科 卒業
(共愛学園高等学校 出身)

前橋市 水道局下水道整備課 勤務

今後も仕事に活かせる資格取得を目指します

現在は、下水道が埋設されていない未整備箇所の整備に携わり、下水道管渠施設の設計や工事の発注及び工事監督を行っています。目に見えない設備ではありますが、人々の生活を今後長い期間支えるインフラに携われていることが、今のやりがいです。

社会環境工学科（現：土木・環境プログラム）は、土木関連の公務員の就職率が高いことが魅力だと思います。実践的な設備が整った環境で、専門的な内容を学べたので、就職後も、学んだ知識や技術を活かすことができました。

また、就職してから、1級土木施工管理技士の資格を取得しました。現在は、下水道技術検定の資格取得のために勉強中です。今後も今の仕事に活かせるような資格の取得を目指しています。

Q 学生時代の1番の思い出は？

学生自治会に所属し学園祭の運営を行ったこと



建築都市プログラム



山梨 綾菜さん

平成22年3月 建築学科 卒業
平成24年3月 建築学専攻 修了
(福島県立福島南高等学校 出身)

flat class architects 一級建築士事務所主宰

建築設計を通じて、豊かさと社会性を育む場をつくりたい

現在は都内で建築設計事務所を主宰し、住宅、福祉施設、商業施設等の設計を行っています。卒業設計・修士設計では、実際の敷地を対象に地域社会の課題に着目し、プログラムやカタチを通して解決策の提案を行いました。こうした取り組みは、現在の実務を行う上での基礎となっています。

前工大は少人数制授業が特徴で、先生や先輩後輩との距離も近く、自分次第で多くの情報や活動の機会に触れることができます。また、東京からのアクセスも良いので、非常勤講師の先生方も東京で事務所を構えている方も多く視野の広い授業を受けることができます。

意匠・構造・設備を横断する学びと、地方ならではの貴重な経験を培ってください。

Q 学生時代の1番の思い出は？

インターンをきっかけにベネチアビエンナーレのスタッフとして現地に長期滞在したこと



工学デザインプログラム



根本 千沙季さん

令和4年3月 総合デザイン工学科 卒業
(福島成蹊高等学校 出身)

一般社団法人前橋まちなかエージェンシー 総務部 勤務

どんな大学生活を送りたいかを想像することで、モチベーションに繋がります

現在は、前橋の中心市街地にあるまちなかと呼ばれるエリアで、まちづくりに携わる仕事をしています。商店街のお店に向けたPR企画の提案や、フリーペーパー等のデザイン、空き店舗をリノベーションしたシェアオフィスの管理等、幅広く業務を行っています。

前橋工科大学の学生は、研究室や興味によって目指す職業も異なっていたので、選択肢にとらわれず、「自分は自分のやりたいことを」をベースに、進路を考えることができました。また、前橋市は全国的に見ても物価が安く、大学の学費も良心的だったので、大きな負担がかからなかったのも魅力的でした。

大学生になると、生活環境や時間の使い方の自由度が高くなるので、どんな大学生活を送りたいかを具体的に想像してみると、モチベーションに繋がると思います。

Q 学生時代の1番の思い出は？

4年の夏から始めたシェアハウス

卒業生メッセージ



情報システムプログラム



江並 晴之介さん

令和6年3月生命情報学科卒業
(愛知県立知立東高等学校 出身)

太陽誘電株式会社 回生システム開発 勤務

他企業と協業し、わくわくするようなことを見つけていきたい

現在は、自転車の前輪モーターで回生(発電)する機能を搭載した、回生電動アシストシステム「FEREMOTM」の開発等を行っています。訴求活動や社会貢献を通じて、システムの魅力や強みを多くの人に知ってもらうことが、今のやりがいです。

大学では、主にC言語を使用したプログラミングについて学びました。前橋工科大学は、思考力や発想力、創造力を培う講義が多いため、今でもアイデアを創出する企画会議などで役に立っています。これからも、太陽誘電ならではの強みを生かし、自治体や他企業と協業することで、社会価値と経済価値を両立させながら、わくわくするようなことを見つけていきたいです。

※「FEREMO」は、日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

Q 学生時代の1番の思い出は？

教授と1対1で組合せ数学の問題について
意見を交わしたこと



医工学プログラム



岩井 隼人さん

令和3年3月システム生体工学科卒業
令和5年3月システム生体工学専攻修了
(横須賀学院高等学校 出身)

富士通株式会社 ジャパングローバルゲートウェイ アプリケーションギルドDivision 勤務

人々の可能性を広げていけるような研究者であり続けたい

SEとしてシステム設計や開発業務、生成AIを活用した業務改善を行っています。また、仕事と並行しながら前橋工科大学博士後期課程に進み、義手の制御に関する研究を続けています。

医工学プログラムでは、情報、電子、機械、福祉工学など様々な分野を横断的に学べるカリキュラムが提供されています。私は、工学と医学を学際的に学んだことで、各分野の知識を融合させて解決する方法を身に付けることができました。

今は、ソフトウェアの知識と医工学の知識を活かし、医療ITや福祉ITの分野からの社会貢献を目指しています。今後も、人々の可能性を広げていけるような研究者であり続けたいです。

Q 学生時代の1番の思い出は？

昼夜問わず仲間と研究に没頭した日々



生物応用プログラム



石久保 穂乃美さん

平成27年3月生物工学科卒業
(群馬県立高崎女子高等学校 出身)

一般財団法人群馬県薬剤師会環境衛生試験センター 検査部生物検査課 勤務

小規模だからこそたくさんの学びと出会いであふれている場所です

現在は、環境衛生、公害関係、医薬品等の検査を行う検査機関で、主に水質検査の業務を担当しています。普段何気なく飲んでいる水の安全・安心を証明することが、やりがいに繋がっています。

前橋工科大学は、小さな大学ですが、就職活動等日々の学校生活に関しても親身になってくれる教授がいます。今の会社も、インターンシップでお世話になった場所で教授を通じて受け入れをお願いしました。

小規模だからこそ、4年間で多くのことが学べ、素敵な友人達とも出会える場所だと思います。これから入学してくる学生には、何事も積極的に活動し、実りある大学生活を送って欲しいと思います。

Q 学生時代の1番の思い出は？

学園祭実行委員として、仲間と一緒に学園祭
を作り上げたこと